

平成 28 年度 山形市総合防災訓練について

1 目的

この訓練は、山形市が実施する総合的な防災訓練であり、市、防災会議構成機関等及び自主防災組織等が実施する応急対策の確認・検証を図るとともに、市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日時及び場所

平成 28 年 8 月 27 日（土） ※小雨決行

区分	時間	場所
1 部訓練 市避難所の開設・ 運営訓練	午前 9 時 00 分～11 時 00 分	第一中学校体育館
2 部訓練 総合訓練	午前 9 時 30 分～11 時 30 分	第一中学校 南側グラウンド 第一中学校柔剣道場

※ これまで、上記訓練に先立ち行ってまいりました「災害対策本部設置訓練」は、より実践的な訓練を実施するため、別途行います。

開催日時（予定）：平成 28 年 11 月 11 日（金）午前 10 時～

3 訓練参加者（約 1,200 人）

(1) 第 8 地区の自主防災組織等（約 30 人）

12 自主防災組織等×2 人程度

(2) 東沢地区の自主防災組織等（約 30 人）

12 自主防災組織等×2 人程度

(3) 他地区の自主防災組織（約 800 人）

393 組織×2 人

(4) 公共機関等（約 100 人）

国土交通省山形河川国道事務所、陸上自衛隊第 6 師団第 20 普通科連隊、山形県消防防災航空隊、日本赤十字社山形県支部、山形 D M A T（山形県立中央病院、社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院、山形市立病院済生館）、山形市社会福祉協議会、山形市女性防火連絡協議会

(5) ライフライン関係機関（約 80 人）

東北電力株式会社山形営業所、N T T 東日本株式会社山形支店、株式会社 N T T ドコモ C S 東北山形支店、山形ガス株式会社、山形ガス管工株式会社、山形県 L P ガス防災協会、山形市管工事協同組合

(6) 災害時応援協定都市（2 人）

宮城県加美郡加美町

(7) 災害時応援協定団体等（約 50 人）

山形コミュニティ放送株式会社、山形県解体工事業協会、コメリ災害対策センター、日本造園建設業協会山形県支部、株式会社レンタルのニッケン山形営業所、山形県防災士会、日本自動車連盟山形支部、山形市薬剤師会、山形県医薬品卸業協会 等

(8) 山形市職員（約 100 人）

災害対策本部員、関係する防災支部及び市避難所指名職員、消防職員、消防団員

4 訓練（被害）想定

平成 28 年 8 月 27 日（土）午前 8 時 30 分、山形盆地断層帯を震源域とするマグニチュード 7.8 と推定される地震が発生し、山形市内で震度 6 強を観測。

この地震により、市内全域で多数の人的被害及び物的被害等が発生し、特に市東部では、降り続く大雨による地盤の軟弱化と地震の影響により土砂災害が発生し、家屋が倒壊し多数の負傷者が発生したほか、電気、通信、水道等のライフラインに甚大な被害が発生し、市避難所には多数の住民が避難しているとの想定。

5 訓練の基本方針

大規模な地震及び土砂災害が発生したとの想定のもと訓練を実施する。

東日本大震災の経験を踏まえた山形市地域防災計画の見直しに係る応急対策の実施・検証を行うため、次の 3 つの重点項目として、実践的な訓練を実施する。

合わせて、災害時応援協定機関、市防災会議構成機関等、市民が一体となった総合的な訓練を実施することにより、市民の防災意識の啓発と自主防災組織をはじめ各関係機関の防災技術の向上に資する。

(1) 行政の防災体制の強化

- ア 災害時応援協定機関との連携
- イ 災害時における医療機関との連携

(2) 地域の防災力向上

- ア 自主防災組織による避難誘導及び負傷者の救助・搬送
- イ 防災支部・市避難所の開設・運営
- ウ 避難行動支援制度の要支援者名簿情報を活用した安否確認

(3) 備蓄の普及・啓発

公助備蓄物資の展示 など

6 訓練内容

大規模な地震発生後、概ね 2 時間程度の初期対応を想定した訓練を実施する。

また、訓練の実施にあたっては次の 2 部構成とする。

- (1) 1 部訓練 第一中学校市避難所の開設・運営訓練
- (2) 2 部訓練 総合訓練

7 主な訓練項目

構 成	訓練項目	訓練場所	訓練者
1 部訓練 第一中学校市避難所 の開設・運営訓練 9 : 0 0 ~ 1 1 : 0 0	市避難所開設・運営訓練	第一中学校体育 館	第一中学校 市避難所運営 委員会 第一中学校に 避難する自主 防災組織等
	情報収集伝達訓練		
	避難誘導訓練（要支援者対応 を含む）		
	炊き出し訓練		
2 部訓練 総合訓練 9 : 3 0 ~ 1 1 : 3 0	自主防災組織救助活動訓練	第一中学校南側 グラウンド及び 柔剣道場	東 沢 地 区 の 自主防災組織、 公共機関、ライ フライン関係 機関、災害時 応援協定団体 等
	応急 対 策 訓 練		
	情報収集伝達訓練		
	道路障害物排除訓練		
	救助訓練		
	医療救護訓練		
	ライフライン応急対応訓練		
	協定都市緊急物資受渡し訓練		
	情報発信訓練		
	体験 ・ 展 示		
	消防団による防災学習車の 展示		
	炊き出し訓練		
	L P ガス供給訓練		
	災害用伝言ダイヤル体験		
	災害用伝言板使用体験		
	救急講習		
	煙体験訓練		
	初期消火訓練		
	起震車体験訓練		
	公共機関等展示		
災害時応援協定団体等展示			
応急給水展示			
公助備蓄物資展示			

8 訓練の中止

市の地域に大雨、暴風、洪水等の気象警報が発表されるなど、災害が発生するおそれがある場合は訓練を中止するものとする。

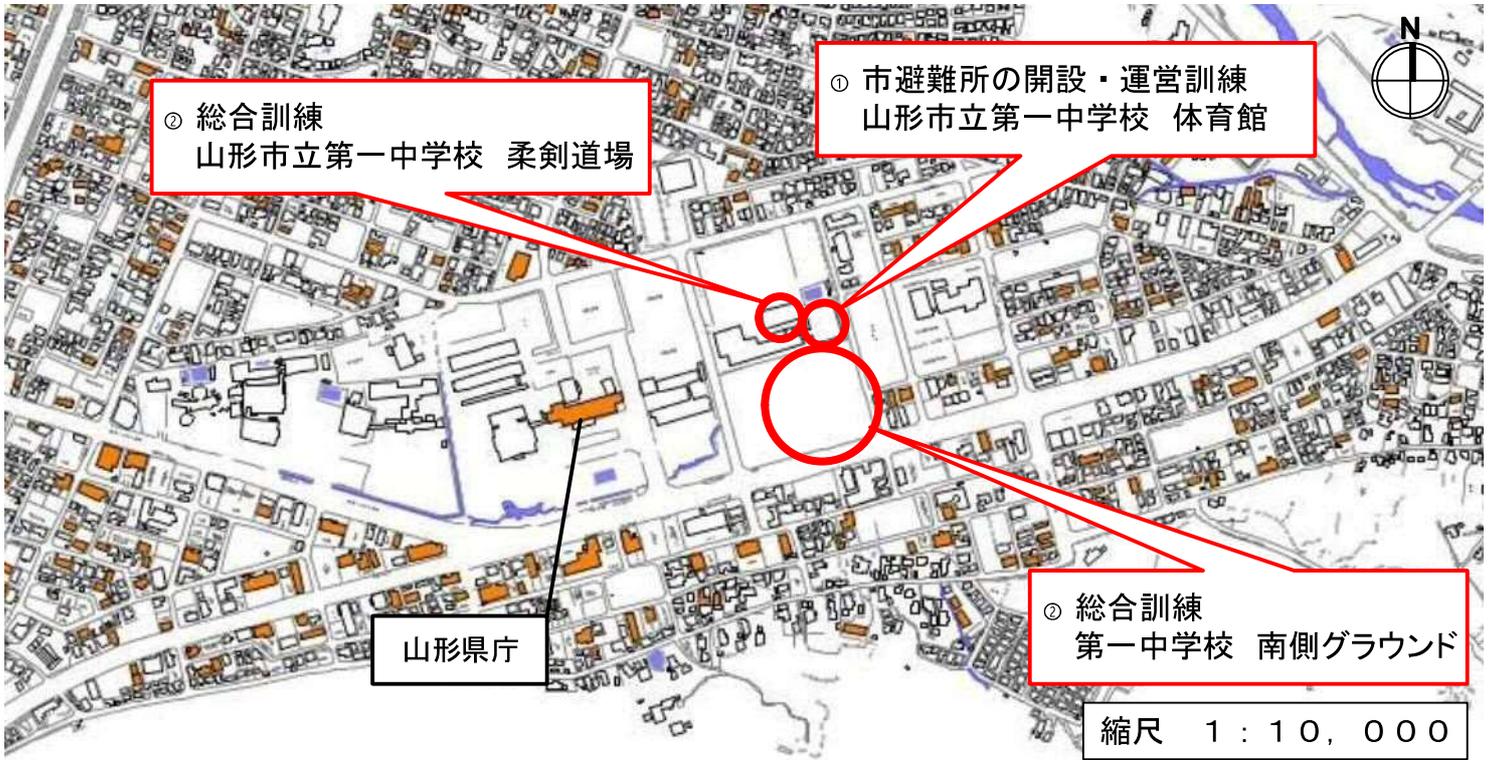
なお、訓練を中止した場合は、市ホームページ、報道機関等を通じて市民へ周知を図るとともに、訓練参加機関への連絡を行うものとする。

問い合わせ先
総務部防災対策課
TEL023-641-1212 内380、381

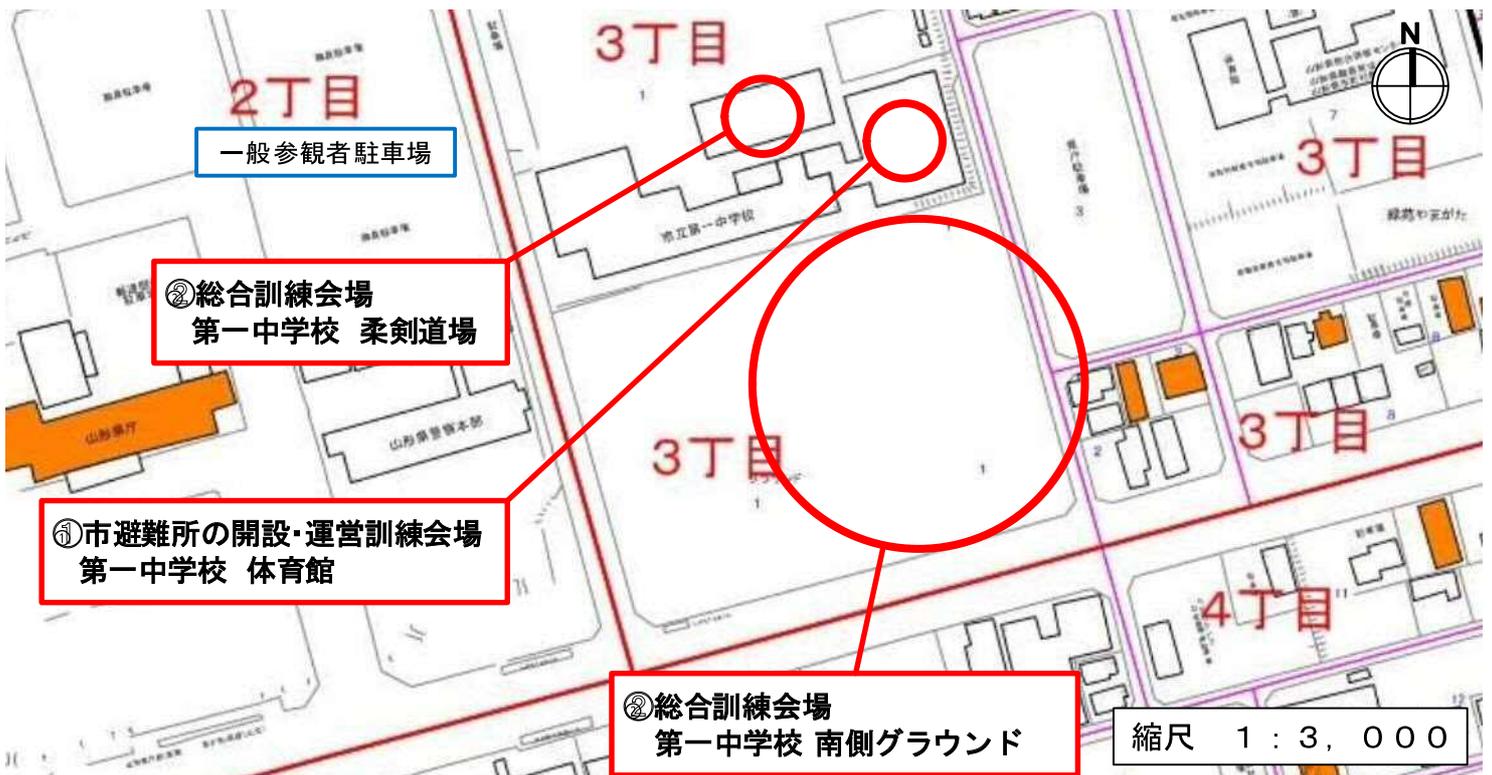
平成28年度山形市総合防災訓練 訓練会場図

平成28年8月1日
市長記者会見資料

- 山形市立第一中学校市避難所の開設・運営訓練(下図①)
- 総合訓練(下図②)



※参考(総合防災訓練会場周辺拡大図)



平成28年度臨時福祉給付金及び障がい・遺族基礎年金
受給者向け給付金給付事業の申請受付について

- 1 申請書等の送付
支給対象者と思われる方が属する約28,000世帯（内、障がい・遺族基礎年金受給者向け給付金支給対象世帯約1,500世帯含む）に、案内とともに申請書を送付。
発送日 平成28年8月16日（火）
- 2 申請受付期間
平成28年8月17日（水）から平成29年2月17日（金）まで
- 3 給付方法
申請書記載の指定口座へ振込み
- 4 支給日
第1回目支給10月上旬とし、10、11月は月3回、12月からは月2回支給を予定
- 5 給付額
臨時福祉給付金 一人あたり3,000円（1回限り）
障がい・遺族基礎年金受給者向け給付金 一人あたり30,000円（1回限り）
- 6 申請方法
郵送（返信用封筒を同封）もしくは市役所1階臨時受付窓口へ提出

○目的

臨時福祉給付金は、消費税率の引上げに際し、低所得の住民に与える負担の影響に鑑み、低所得の住民に対する適切な配慮を行うため、暫定的・臨時的な措置として実施する。

障がい・遺族基礎年金受給者向け給付金は、「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の障がい・遺族基礎年金受給者を支援することを目的とする。

○対象の方

臨時福祉給付金は、平成28年1月1日において山形市に住民票があり、平成28年度分の市民税が課税されていない方（ただし、自身を扶養している方が課税されている場合や生活保護制度の被保護者となっている場合を除く。）。

約42,000人を想定

障がい・遺族基礎年金受給者向け給付金は、臨時福祉給付金の支給対象の方のうち、障害基礎年金、遺族基礎年金の受給者であり、かつ高齢者向け給付金を受給していない方。

約1,500人を想定

○事業費

臨時福祉給付金	126,000千円
障がい・遺族基礎年金受給者向け給付金	87,000千円

平成28年8月1日

市長記者会見資料

「やまがたし☆創業アワード2016」の開催について

1. 目的

将来の山形市経済や産業を支える新たな事業の創出・育成を支援するため、創業を志す者のモデル事例として相応しい優れた創業者を表彰する事業「やまがたし☆創業アワード2016」を実施し、創業を支える風土の育成と創業機運の醸成を目的とする。

2. 開催日時

8月4日（木） 14:00～ 応募者による公開プレゼン
16:30～ 表彰式

3. 開催場所

山形市七日町 AZビル前

4. 内容

公開プレゼンは、事業概要、事業PR、今後の展望等について、各応募者5分程度を予定。プレゼン後、すぐに、審査を行い、表彰を行う。

賞は、最優秀賞1件（副賞10万円）、優秀賞4件（副賞5万円）。表彰式での賞の授与は市長が行う。

なお、当日は、花笠サマーフェスティバル開催のため、七日町通りは歩行者天国となっている。

問い合わせ先

商工観光部雇用創出課

TEL023-641-1212 内415

姉妹都市締結25周年記念「ウランウデ市への市民訪問団」派遣について

1. 訪問目的 ウランウデ市との姉妹都市締結25周年を記念し、ウランウデ市で予定されている記念式典への出席及び文化交流事業への参加を通して、両市の更なる友好親善関係を深める。(1991年2月16日 姉妹都市盟約締結)
※山形市民訪問団としては、平成9年に助役を団長として12名を派遣した「ウランウデ市訪問経済視察団」以来、19年ぶりの派遣となる。
2. 訪問期間 平成28年8月29日(月)から9月6日(火)
3. 訪問団員 市長、市議会議長をはじめ市関係者10名
市民30名以内
※市民の募集期間は、7月8日(金)から8月5日(金)まで
4. 交流内容 山形市・ウランウデ市姉妹都市締結25周年記念式典、
ウランウデ市生誕350周年祭、ウランウデ市長表敬訪問
ブリヤート国立歌劇場芸術監督 岩田守弘氏主催記念バレエ公演、和太鼓との共演
5. 訪問日程

	月日	内容
1	8/29(月)	山形市役所(13:30発)→東京都内ホテル(18:00着) 【東京都内泊】
2	8/30(火)	成田空港(9:25発)→仁川国際空港(経由)→シェレメチェボ空港(16:50着) 【モスクワ泊】
3	8/31(水)	ドモジウドボ国際空港(9:05発)→サンクトペテルブルク空港(10:35着) ・サンクトペテルブルク市内見学 【サンクトペテルブルク泊】
4	9/1(木)	・サンクトペテルブルク市内見学 サンクトペテルブルク空港(17:15発)→ドモジウドボ国際空港(18:40着・21:15発) →ウランウデ市へ 【機内泊】
5	9/2(金)	ウランウデ空港(8:40着) ・ウランウデ市長表敬訪問 ・ウランウデ市生誕350周年祭 ・ウランウデ市内見学 【ウランウデ泊】
6	9/3(土)	ウランウデ市 ・山形市・ウランウデ市姉妹都市締結25周年記念式典 ・ブリヤート国立歌劇場芸術監督岩田守弘氏主催記念バレエ公演、和太鼓との共演 ・ウランウデ市内見学 【ウランウデ泊】
7	9/4(日)	ウランウデ空港(9:25発)→ドモジウドボ国際空港(11:00着) ・モスクワ市内見学 【モスクワ泊】
8	9/5(月)	・モスクワ市内見学 シェレメチェボ空港(18:55発)→仁川国際空港へ 【機内泊】
9	9/6(火)	仁川国際空港(経由)→成田空港(12:30着・13:30発)→山形市役所(18:00着)

6. 出発式

- 日時 平成28年8月29日(月) 13時20分から(13時30分 出発予定)
- 場所 山形市役所前ピロティ
- 内容 市長(団長) あいさつ、副市長あいさつ

7. 帰着式

- 日時 平成28年9月6日(火) 18時頃(18時 到着予定)
- 場所 山形市役所前ピロティ
- 内容 議長(副団長) あいさつ

問い合わせ先
 国際交流センター
 Tel 023-647-2275

(参考)

ウランウデ市とのこれまでの主な交流(抜粋)

年	月	内容
1991 (H3)	2月	山形市、ウランウデ市姉妹都市盟約締結
1992 (H4)	4月	山形市民友好訪問団先遣協議団2人がウランウデ市を訪問、8月に予定されている山形市民友好訪問団について協議した。
	7月	山形市国際交流課職員が交換語学留学生として3ヵ月間ウランウデ市に滞在し、ロシア語研修等を通じ市民と交流した。
	8月	山形市長を団長とする35人が、第1回山形市民ウランウデ市友好訪問団としてウランウデ市を訪問。4日間のウランウデ市滞在中に歓迎を受け友好親善を深めた。
1993 (H5)	2月	ウランウデ市副市長を団長とするウランウデ市代表団6人が、5日間山形市に滞在し、市内視察や今後の交流について協議した。
	12月	ウランウデ市国際関係部職員のヴェロニカ・ロパリョーヴァさんが交換語学研修生として3ヵ月間山形に滞在し、日本語研修等を通じ市民と交流した。
1996 (H8)	7月	山形市長を団長とした山形市友好代表団・市民訪問団28人が、ウランウデ市を訪問。「世界平和都市会議 in 山形」に招致するとともに、市民との交流・視察を通して友好を深めた。
1997 (H9)	7月	山形市助役を団長としたウランウデ市訪問経済視察団12人が、経済交流のためウランウデ市を訪問。お互いの情報交換や研修を行い、国際理解と本市経済の発展のため友好を深めた。
	10月	「世界平和都市会議 in 山形」にウランウデ市議長を団長に8人が来形。円卓会議におけるパネリスト、パフォーマンスの披露など、様々な友好姉妹都市イベントへの参加を通じ交流を深めた。
1999 (H11)	11月	ウランウデ市長を団長とする市代表団5人が来形し、交流事業を通じて友好を深めた。また、ウランウデ市長に対し、特別名誉市民章が贈られた。
2001 (H13)	6月	水道事業管理者を団長とするウランウデ市友好代表団5人が、ウランウデ市を訪問。経済交流をはじめ今後の交流について協議するとともに、記念式典等の参加を通じ友好親善を深めた。
	9月	姉妹都市締結10周年を記念し、山形市において記念式典を開催。副市長を団長とする代表団5人が来形し、5日間の滞在中に式典の参加や学校訪問等を通じ友好親善を深めた。
2011 (H23)	3月	東日大震災に際し、ウランウデ市長より、お見舞いとお悔やみのメッセージをいただいた。
2012 (H24)	7月	市議会議長を団長とし、ウランウデ市代表団が来形。4日間にわたり山形市に滞在し、市内視察のほか、7月3日にはウランウデ市紹介フォーラムを開催し、ゴルコフ・アレクサンドル市議会議長が講演を行なった。

※ 部分は市民訪問団派遣。

モンテディオ山形・山形市応援デーについて

- 1 目的

市町村ごとに年一回割り当てられた対象試合について、本市に在住・在勤している方を対象にチケットを半額以下で販売することにより、一人でも多くの方がスタジアムに足を運ぶきっかけをつくることを目的とする。

また、県内からの来場者はもちろんのこと、ビジター来場者も多く訪れる機会を活用し、本市の観光物産・イベントのPRを行い、地域活性化を図る。
- 2 期日

平成28年8月21日（日）18時キックオフ
明治安田生命J2リーグ第30節
モンテディオ山形対FC岐阜戦
- 3 場所

NDソフトスタジアム山形（天童市山王1番1号）
- 4 内容

山形市PRブースの設置

 - ・山形市産農産物の振る舞い
山形市農業振興協議会より提供
数量限定（なくなり次第終了）
 - ・はながたベニちゃん関連グッズの提供

山形市応援デーセレモニーの実施

 - ・応援募金の贈呈
- 5 チケット販売
 - (1) 概要

山形市に在住・在勤・在学の方を対象に、バックスタンド席のチケットを通常価格3,100円のところ半額以下の1,500円で販売

チケット購入者に山形市とモンテディオ山形がコラボしたオリジナル缶バッジを進呈
 - (2) 販売期間

平成28年7月21日（木）～8月20日（土）
 - (3) 販売場所

山形市スポーツ保健課、山形市スポーツ会館、山形市総合スポーツセンター、山形市球技場、福祉体育館、江南体育館
- 6 問い合わせ先

教育委員会スポーツ保健課 内線632